

# 土木学会四国支部「土木紀行」No7(愛媛県)

## ～・～・～ 田丸橋 ～・～・～

愛媛県喜多郡内子町，肱川の支川の小田川に注ぐ中山川のそのまた支川の麓川に日本でもめずらしい屋根付橋がある（図-1）。

田丸橋と名づけられたこの橋は，幅員が約2m，橋長が約15mで，杉皮葺きの屋根を持っており，川の両端の田畑を結ぶ農道橋である。



図-1 愛媛県喜多郡内子町の地図

橋の形式は木方杖で，中央部の桁と両側からの張り出された斜材によって創られるπ型構造が主桁を支えており，桁列は三列で構成されている。(写真-1,2) 上屋は桁行八間であり，九本の柱が杉皮



図-1 田丸橋



図-2 田丸橋

葺きの大きな屋根を支えている。屋根があることで橋の腐食を防ぎ、木炭の製造が盛んだった頃には出荷を行なう際の倉庫としても利用されていたようです。

田丸橋は、昭和 57 年に内子町指定有形民俗文化財に指定されており、平成 14 年には土木学会から「土木学会選奨土木遺産」にも選定され、橋のたもとに碑が設置されています。

内子町にはかつて多くの屋根付橋があったといわれているが、洪水による破壊や流失、利用が少なくなったことなどにより、次第に数が減っていきました。この田丸橋も昭和 18 年の洪水によって一度は流失しましたが、地域の人々の手により復元されたものであり、今では地域住民により保存会がつくられており、大切に管理されています。

この他にも内子町には屋根付橋として弓削神社の太鼓橋（写真 - 3）、下宮橋（平成 16 年築造）などが存在し、愛媛県内であれば大洲市川辺の「浪漫八橋」として PR されている屋根付橋もある。

田丸橋は、その土地の風景に溶け込み、さり気なく架けられた橋ですが、日本の古き良き風景に合った風情のある橋である。

関心を持った方はぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



写真 - 3

#### 参考文献

内子町ホームページ：<http://www.town.uchiko.ehime.jp/>

内子町観光協会ホームページ：<http://www.we-love-uchiko.jp/>